廣讃寺ジャーナル

第187号
（発行所）
真宗大谷派
松岡山 廣讃寺
中村区城屋敷町3-30
TEL(052)411-5301
FAX(052)411-5341
〈E-mail〉
matsuoka@kosanji.or.jp

毒矢のたとえ

男が歩いていると足に毒矢が刺さりました。急いで取り除かなければ死んでしまいます。そこで友人たちは「まずはこの矢を抜こう。そして治療しよう」と勧めました。しかし男は「いや、待ってくれ。この矢を射たのは誰なのか？男か女か？その人の名前は？なぜ矢を射たのか？そして毒の種類は何だったのか？それらがわかるまでこの矢を抜くのではない」と言い張りました。結局は毒が広がり男は死んでしまいました。

これはお釈迦さまが我々の生きている姿を表現されたものです。

この世に生まれて一番肝心なことがわからずに、あれこれと余計なことを考えている間に、あっという間に寿命が尽きて死んでいくわけです。

矢を抜くとは仏の教えを聞くことでしょう。であるのに教えを聞くことなく、様々なことに振り回されながら日々の生活を送り、いつのまにか毒が抜けることなく死んでいくのです。

仏の慈悲は抜苦与楽（ばっくよらく）とされ、我々の苦しみを抜き、楽を与えるとされています。

今、あなたの足には毒矢が刺さっています。どうしますか。

常任委員会の報告

8月31日に3年半ぶりに常任委員会を開きました。そこで話し合われたことを報告いたします。

【コロナ自粛中での活動の報告】

令和2年春季彼岸永代経から内勤めとし令和4年春期彼岸永代経より説教師をよび午前中のみ勤めました。5月5日の復興永代経は参詣者がほとんどなく内勤め形式で勤めました。

8月13日10時からの盆勤め、1月1日10時からの修正会は感染防止を配慮しながら実施しました。

令和2年10月から毎月28日10時から親鸞聖人の命日法要・同朋会定例会を勤めています。

十日講寺院の参り合いの兼ね合いから報恩講の日は10月の最終日曜日に変更しました。今年は10月29日（日）に執行します。

除夜の鐘は同朋会地区委員の方の負担などを考慮して廃止しました。かわりに元日の朝10時の修正会の後に初鐘として鐘をついてもらうことにした。

伊藤和美さんが令和3年6月に退職し、同年7月より中川区にある聞信寺の瀬尾正寿さんにお役僧をお願いしています。都合がつかない時は田中智教さんにお願いしています。

娘2人が令和4年8月に得度をしました。

令和5年3月から4月にかけて本山で宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要があり廣讃寺からも10数名が参拝しました。

【今後の行事運営について】

令和5年秋季彼岸永代経

午前10時から勤行、10時半頃から法話で11時半過ぎ

よりお茶を飲みながら門徒コミュニケーション。12時に終了とします。

令和5年報恩講

午前9時半から勤行、10時半から法話、12時に終了。お斎はお弁当を用意します。お斎場で食べることを希望される方はお斎場で食べていただき、その他の方は持ち帰ってもらいます。そしてお弁当が足りなくなることが考えられますので、その時は持ち帰り希望の方にお弁当の代わりになるものをお渡しします。

令和6年修正会

コロナ自粛中は、昨年に葬儀を行った家族に修正会参詣の案内を出すことを中止しておりましたが今年からは案内を出すことになりました。

令和6年春期彼岸永代経

令和5年の秋季彼岸、報恩講での様子を見ながらお斎等を考えていきます。

復興永代経

参詣が少ないためしばらくは中止とし、その代わりに日にちを改め8月13日10時に勤めることとします。

大家族と思っていたら今はひとり

おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、弟、妹・・・昔は兄弟が多く、大家族も多いところが多かったです。

親戚中が集まる時は玄関に靴の置き場がなくなるほどだったとよく耳にします。

ところが今は核家族化し、子どもが巣立つまでのわずかな期間は家族が多くにぎやかですが、やがて子どもたちが独立すると、夫婦二人きり、そしていつか独りきりになります。

そんな独りきりになった時に昔の大家族を思い出すと、今はまるで別世界のように感じるそうです。

独りでさみしい、わびしい、本当に孤独を感じるとき、今まで自分とかかわってきた人たち、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さんお母さん、お兄さん、お姉さん、弟、妹が時間を超えて、私を支えてくれています。

行事予定

十月二十八日（土）十時　親鸞聖人ご命日のお勤め
同朋会例会
（同朋会地区委員は十五分前に集合）

報恩講

十月二十九日（日）九時半　報恩講執行
お勤め
法話　市野俊道氏
（十二時まで）
お斎はお弁当となります
（遠方の方優先）